

# CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】


■ 建物概要		■ 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ西原店	階数	地上1F
建設地	熊本県阿蘇郡西原村	構造	S造
用途地域	用途地域指定無	平均居住人員	35人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 予定	評価の実施日	2012年8月1日
敷地面積	5,865㎡	作成者	
建築面積	2,208㎡	確認日	2012年8月2日
延床面積	2,208㎡	確認者	

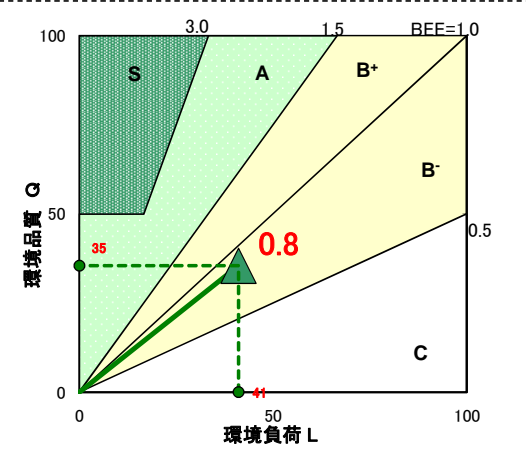


【外観図】シートへ貼り付けしてください。

## 1 CASBEE評価結果

### ■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)





BEE = 0.8

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$


■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★














### ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能(ランク表示)



排出率

70%

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価	評価点												
	72												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">評価点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">91.5</div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">評価点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">62.5</div> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">評価点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">46.4</div> </div> <div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">評価点</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 2px;">66.7</div> </div> </div> <p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示												
100点以上													
80点以上100点未満													
60点以上80点未満													
40点以上60点未満													
40点未満													

# CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホームプラザナフコ西原店	階数	地上1F
建設地	熊本県阿蘇郡西原村	構造	S造
用途地域	用途地域指定無	平均居住人員	35人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 予定	評価の実施日	2012年8月1日
敷地面積	5,865 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,208 m <sup>2</sup>	確認日	2012年8月2日
延床面積	2,208 m <sup>2</sup>	確認者	

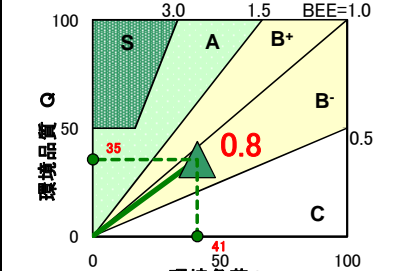


【外観図】シートへ貼り付けしてください。

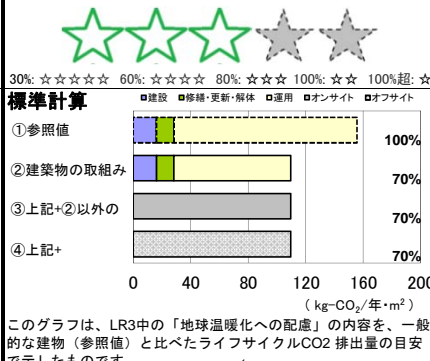
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



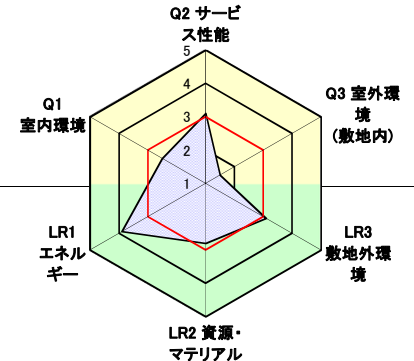
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



標準計算  
 ①参照値  
 ②建築物の取組み  
 ③上記+②以外の  
 ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

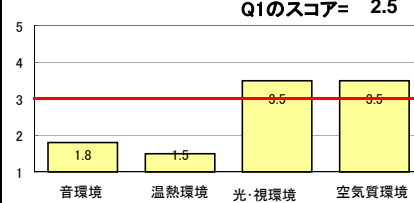
### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



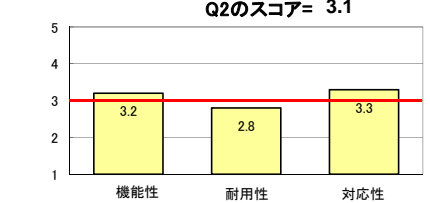
### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

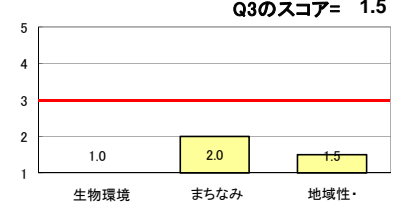
**Q1 室内環境** Q1のスコア = 2.5



**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

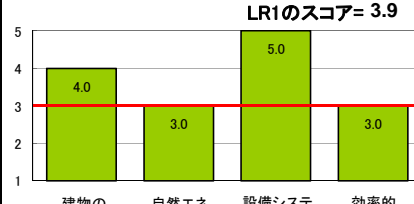


**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 1.5

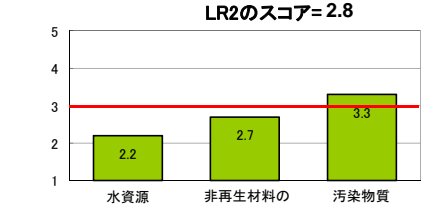


**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

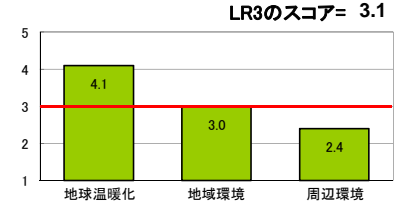
**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.9



**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 2.8




**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.1




### 3 熊本県重点評価結果

**重点事項総合評価** 評価点 = 72


**重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進** 評価点 = 92




**重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現** 評価点 = 63



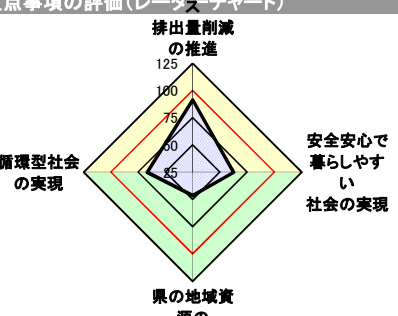
**重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全** 評価点 = 46



**重点事項4: 循環型社会の実現** 評価点 = 67



**重点事項の評価(レーダーチャート)**



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

外部不可を低減する為に開口部は必要最低限とした。  
外壁の色、配置、夜間の照明・騒音など、近隣の迷惑、公害等が生じないように配慮した。

### Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境に努めた。  
外壁材は断熱性の高いALC版を採用し、外皮性能に配慮した。

### Q2 サービス性能

売場の天井高さを高くし、売場の仕切壁を減らすことで、開放的でゆとりのある空間とした。

### Q3 室外環境（敷地内）

周囲への圧迫感を和らげるように配置し、防犯性に配慮した環境作りを心掛けた。

### LR1 エネルギー

エネルギー効率の良い機器を採用し、エネルギー使用の効率化を図った。

### LR2 資源・マテリアル

自動水栓、節水型器具を積極的に採用するよう配慮した。

### LR3 敷地外環境

- ・ 夜間照明は周辺地域に配慮した。
- ・ 太陽光など、はね返しや眩しく感じない外壁の色の選定を行った。

### その他

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**ホームプラザナフコ西原店**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.8</b>	0.15	-	-	-	-	1.8
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>1.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	3.0	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.5</b>	0.35	-	-	-	-	1.5
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		1.0	0.17	3.0	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		1.0	0.33	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 種別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	3.0	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30	3.0	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-	-	-	3.5
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備	トップライトの設置	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 眩り込み対策		-	-	-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	-	3.0	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	3.0	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-	-	-	3.5
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙 喫煙室なし	5.0	0.50	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	-	-	3.1
<b>1 機能性</b>		<b>3.2</b>	0.40	-	-	-	-	3.2
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の円滑化誘導基準を満足	4.0	1.00	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>2.3</b>	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	天井高: 5.0m	5.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.31	-	-	-	-	2.8
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.6</b>	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高: 6.15m	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	比率: 0.08	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			2.2	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		2.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		1.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		断熱性の高い壁を採用	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		LED照明、高効率空調の採用	5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=35.5%	4.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体(ALC版)と軽鉄、内装材と分別可	4.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤用いた断熱材は使用していない。	5.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		2.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制	自転車置場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	4.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.50	-	-	-
2	振動		3.0	0.50	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-

## 熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 ホームプラザナフコ西原店

■評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010(v1.3)\_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		71.7
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				91.5	0.40	36.60
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	4.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				46.4	0.20	9.28
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	1.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				66.7	0.20	13.34
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## ◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

## ◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数